

税泉北第3144号

令和4年8月31日

大阪府職員労働組合  
府税支部泉北分会  
分会長 秋田 高志 様

大阪府泉北府税事務所

所長 明見 政倫



要求書に対する回答書

令和4年8月22日付けで要求のあった標記について、別紙のとおり回答します。



## 要求書に対する回答

R4. 8. 22要求 R4. 8. 31回答

要求項目	回答項目
<p>1 分会との労使慣行を遵守し、労使間の確認事項を遵守すること。労働条件等にかかわる業務の変更等については、事前に分会と協議し、協議が整わない場合は実施しないこと。所属する労働組合による不平等取扱いは一切行わないこと。また、労働組合に対する不当な介入・干渉は行わないこと。</p>	<p>1 良き労使関係については、尊重してまいりたい。 また、勤務条件に関わる事項については、所要の協議を行ってまいりたい。 所属する労働組合による不平等な取扱いや労働組合に対する不当な介入・干渉は行っておりません。</p>
<p>2 大阪府当局が過去に行った不当な賞金抑制を改め、給与・一時金を抜本的に引き上げるよう、関係機関に働きかけること。</p>	<p>2 要求の趣旨を税政課に伝えてまいりたい。</p>
<p>3 税務職俸給表との格差是正という税務手当本来の趣旨に基づき、全税務職員に対する税務職俸給表の適用もしくは調整額へ移行すること。</p>	<p>3 要求の趣旨を税政課に伝えてまいりたい。</p>
<p>4 労働条件を悪化させ、評価者を含む圧倒的多数の職員が資質の向上につながらないとする「相対評価」は撤回すべきであり、「新人事評価制度」の賃金リンクを撤回するよう、関係機関に働きかけること。</p>	<p>4 要求の趣旨を税政課に伝えてまいりたい。</p>
<p>5 「副主査」選考については、府税業務に必要な研修の参加を反映させるなど、対象者の負担を軽減すること。職務経歴や専門性を発揮し、民主的・安定的な行政運営を行うためにも、誰もが行政職4級の水準に到達できるよう、賃金体系の改善を行</p>	<p>5 要求の趣旨を税政課に伝えてまいりたい。</p>

<p>うこと。</p> <p>6 非常勤職員の雇用の継続や給料・労働条件の改善を行うよう、関係機関に働きかけること。</p> <p>7 再任用職員の労働条件等を改善すること。給与・一時金の改善を行うよう関係機関に働きかけること。</p> <p>8 時差勤務を廃止し、勤務時間を拘束8時間とするよう、関係機関に働きかけること。</p>	<p>6 要求の趣旨を税政課に伝えてまいりたい。</p> <p>7 要求の趣旨を税政課に伝えてまいりたい。</p> <p>8 要求の趣旨を税政課に伝えてまいりたい。</p>
<p>9 「税收確保対策」等による労働強化・管理強化は行わないこと。また、「税收確保重点月間」等を理由とした時間外勤務の強要を行わないこと。超過勤務を縮減し、府民サービスの上と労働条件確保のため、人員確保をはじめとする適切な措置を講ずること。</p>	<p>9 「税收確保対策」は極めて重要な課題であり、課内会議、班会議等を適宜開催するなど、職員間の意思の疎通を図りながら推進してまいりたい。</p> <p>その他については、要求の趣旨を税政課に伝えてまいりたい。</p>
<p>10 職員の長時間勤務解消や過重労働防止等、実質的な労働時間の短縮を図る観点から、人事異動などにおいて本人の希望を尊重するなど、適切に対応すること。</p> <p>11 台風、地震等の災害に伴う交通機関の途絶に対し、職員の安全確保の観点から早期に特別休暇の判断を行うこと。</p> <p>12 VDT作業における職員の健康管理体制の充実と作業環境の整備を行うこと。また、VDT 特別健康診断の充実と全員受診体制を確立するよう、関係機関に働きかけること。</p>	<p>10 要求の趣旨を税政課に伝えてまいりたい。</p> <p>11 特別休暇の判断については、今後とも関係課と連携しながら、適切な対応に努めてまいりたい。</p> <p>12 要求の趣旨を税政課に伝えてまいりたい。</p>

13 熱中症対策・職員の健康管理、執務環境の改善のため、空調の弾力的運転と空調機器の整備を徹底すること。超過勤務が増加している現状、「フレックスタイム制度」により通常勤務時間帯以外も正規勤務時間になることを踏まえ、スポットクーラー、電気暖房機器等の局所空調機器を整備すること。職員が自由に水分補給等できるように、必要に応じて休息が取れるよう徹底すること。

14 セクシユアルハラメント、パワーハラメント、妊娠・出産・育児休業・介護休業等に関するハラメントなど、職場におけるハラメントを防止するため、所属として適切な措置をとること。

13 空調については、職員の健康や快適な執務環境の観点から、執務室内の適温管理に努めているところであり、今後とも気象状況に留意しながら適切な運用・整備に努めてまいりたい。

フレックスタイム制度における空調に関することは、全庁的な方針を踏まえ、必要に応じて適切に対応してまいりたい。

水分補給等については、職員の健康管理に留意しながら、適切に対応してまいりたい。

14 職員の意識啓発や研修の実施等により、職場におけるハラメントの防止に努めてまいりたい。

